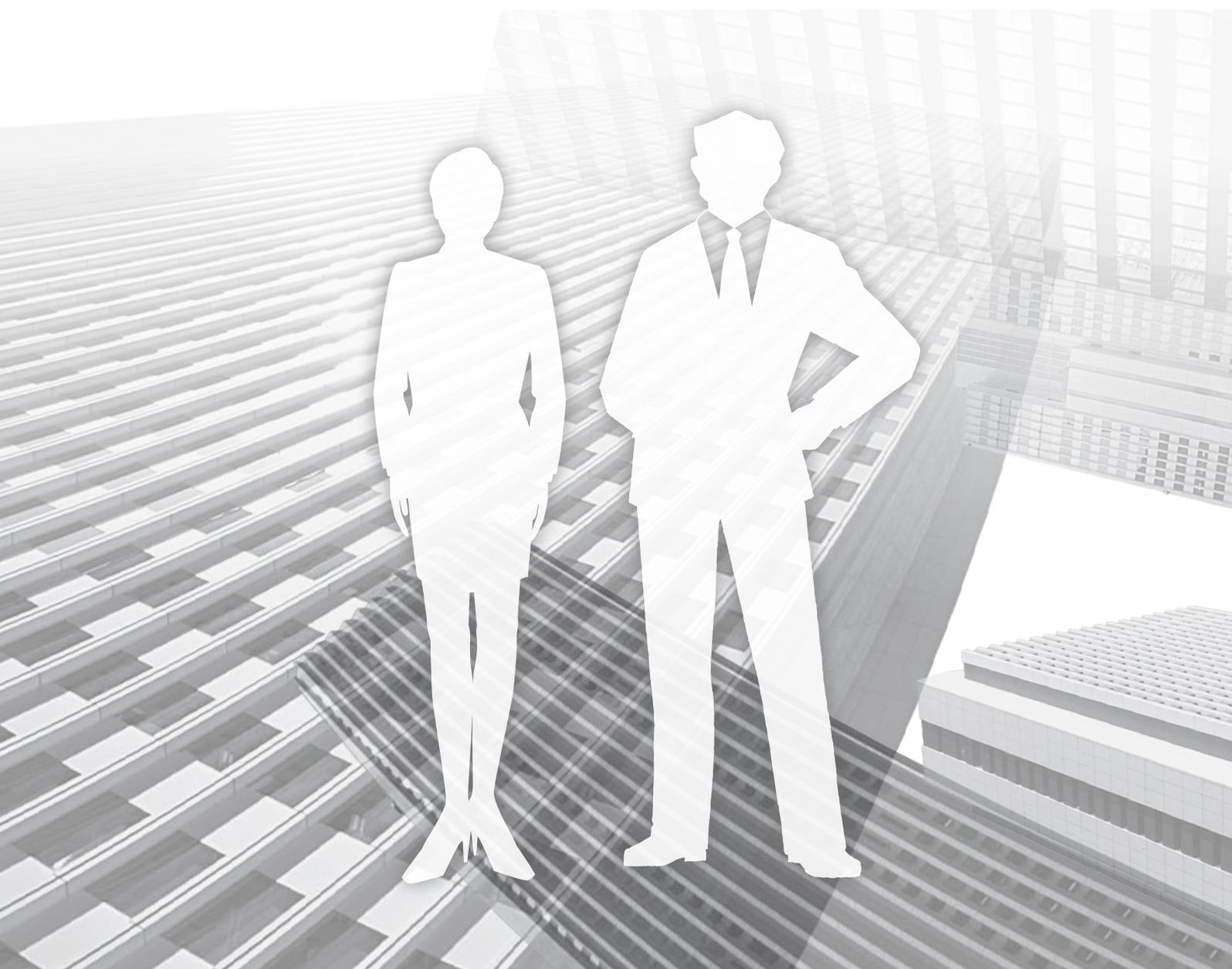


いわき会場

# 登壇者プロフィール



## 第1部 シンポジウム「震災と人権 ～真の心の復興・生活再建を目指して～」



パネリスト

**吉田 恵美子** (よしだ・えみこ)

特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長  
いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンターセンター長  
いわきおてんとSUN企業組合代表理事

1980(昭和55)年4月～1981(昭和56)年3月 奈良市立三笠中学校勤務  
1989(平成元年)12月 ザ・ピープル設立に参加  
2000(平成12)年6月 ザ・ピープル代表就任  
2000(平成12)年9月 P.C.Cワークショップうえだ(精神障がい者小規模作業所)施設長就任  
2004(平成16)年4月 特定非営利活動法人ザ・ピープル設立に伴い理事長就任  
障がい者小規模作業所まいぺんらい(旧P.C.Cワークショップうえだ)運営協議会設立に伴い会長・施設長就任  
2007(平成19)年3月 障がい者小規模作業所まいぺんらい閉鎖に伴い退任  
2011(平成23)年4月 いわき市小名浜地区災害ボランティアセンター設立に伴いセンター長就任  
2011(平成23)年8月 いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンターへの組織改編に伴いセンター長就任  
2013(平成25)年2月 いわきおてんとSUN企業組合創設に伴い代表理事就任  
現在に至る

### 【役職】

特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長	(公財)いわき市国際交流協会理事
小名浜まちづくり市民会議理事	いわき市民間国際交流・協力団体連絡会事務局長
福島県エコ・リサイクル製品認定審査会審査員	福島県港湾審議会委員
いわき市文化振興基金運営委員会委員	もったいないネットワーク福島運営委員
ふくしま地球市民ネットワーク運営委員	3.11被災者を支援するいわき連絡協議会副代表
福島県公益認定等審議会委員	いわきおてんとSUN企業組合代表理事

2012(平成24)年3月 国際交流基金地球市民賞理事長特別賞(ザ・ピープル)  
2013(平成25)年10月 いわき市市政功労賞(ザ・ピープル)

### 【共著】

早稲田大学ブックレット「震災後」に考えるシリーズ35  
『フクシマから日本の未来を創る―復興のための新しい発想』(株式会社早稲田大学出版部2014)

- 特定非営利活動法人ザ・ピープル  
<http://www.iwaki-j.com/people/>
- いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター  
<http://onahama-volunteer.jimdo.com/>
- いわきおてんとSUN企業組合  
<http://www.iwaki-otentosun.jp/>



パネリスト

**高橋 大就** (たかはし・だいじゅ)

一般社団法人東の食の会事務局代表  
オイシックス株式会社プラットフォーム事業本部海外事業部長

- 1999(平成11)年4月 外務省入省、在米国大使館勤務を経て、課長補佐として日米通商を担当。
- 2008(平成20)年 マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。プロジェクト・マネージャーとして、農業分野等を担当。
- 2011(平成23)年 東日本大震災直後からマッキンゼー社を休職、NPOに参加し東北で支援活動に従事する傍ら、東の食の会の立ち上げに関わる。
- 2011(平成23)年6月 東の食の会発足と共に事務局代表に就任。  
8月 正式にマッキンゼー社を退社し、オイシックス株式会社海外事業部長に就任。
- 現 在 オイシックスにおいて、高付加価値の日本の食材を海外に販売する事業を、東の食の会において、東北の食産業の復興事業を同時に精力的に行っている。

- 一般社団法人東の食の会 <http://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>  
○オイシックス株式会社 <https://www.oisix.com/>



パネリスト

**白石 草** (しらいし・はじめ)

特定非営利活動法人OurPlanet-TV代表理事  
一橋大学社会学研究科客員准教授

- 1993(平成5)年 テレビ朝日系の制作会社入社。  
1995(平成7)年 東京メトロポリタンテレビジョン (TOKYO MX) 入社。  
ビデオジャーナリストとしてニュース、ドキュメンタリー番組制作に携わる。  
2001(平成13)年 独立し、同年10月に非営利のインターネットメディア「OurPlanet-TV」を設立。  
2005(平成17)年 NPO法人化し、代表理事に就任。

独自番組の制作配信のほか、東京・神保町にメディアセンターを開設し、市民やNGO向けのメディア支援を行っている。  
東日本大震災後は、主に子どもと被曝の問題などを積極的に発信している。

- 2010(平成22)年 地方の時代映像祭優秀賞  
2011(平成23)年 放送ウーマン賞  
貧困ジャーナリズム賞  
2012(平成24)年 JcJ賞 (日本ジャーナリスト会議賞)  
やよりジャーナリスト特別賞<メディアの役割>  
2014(平成26)年 科学ジャーナリズム大賞

**【著書】**

- 『メディアをつくる—小さな声を伝えるために』(岩波ブックレット2011)  
『ビデオカメラでいこう—ゼロからはじめるドキュメンタリー』(七つ森書館2008)

- 特定非営利活動法人OurPlanet-TV <http://www.ourplanet-tv.org/>  
○一橋大学社会学研究科 <http://www.soc.hit-u.ac.jp/>



コーディネーター

**横田 洋三** (よこた・ようぞう)

法務省特別顧問

国際労働機関 (ILO) 条約勧告適用専門家委員会委員

公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

元・国連人権促進保護小委員会委員

- 1969(昭和44)年 国際基督教大学教養学部専任講師  
 1971(昭和46)年 国際基督教大学教養学部助教授  
 1974(昭和49)年 世界銀行法務部法律顧問  
 1979(昭和54)年 国際基督教大学教養学部教授  
 1983(昭和58)年 アデレード大学客員教授  
 1984(昭和59)年 コロンビア大学客員教授  
 1988(昭和63)年 国連差別防止及び少数者保護小委員会代理委員  
 1991(平成3)年 国連人権委員会ミャンマー担当特別報告者(1996年まで)  
 1995(平成7)年 東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授  
 2000(平成12)年 国連人権促進保護小委員会委員  
 2001(平成13)年 中央大学法学部教授、国連大学学長特別顧問  
 2003(平成15)年 ILO条約勧告適用専門家委員会委員  
 2004(平成16)年 中央大学法科大学院教授  
 2006(平成18)年 財団法人人権教育啓発推進センター理事長  
 2010(平成22)年 ILO条約勧告適用専門家委員会委員長  
 ※2013(平成25)年6月まで、同年7月からは委員  
 2012(平成24)年 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

◆主な担当分野 国際法、国際機構論、国際人権法、国際経済法

◆研究テーマ 国際経済法と国際公共政策、国際機構法の体系的研究、国際人権法の強行法規性

#### 【主な著書】

- 「歴史はいかに書かれるべきか」(翻訳)(講談社学術文庫)  
 「二〇世紀と国際機構」(国際関係基礎研究所)  
 「日本の国際法事例研究(1)～(5)」(共著)(慶應義塾大学出版会)  
 「新版国際機構論」(共著)(国際書院)  
 「国連再生のシナリオ」(共訳)(国際書院)  
 「国連の可能性と限界」(共訳)(国際書院)  
 「国際法入門」(共著)(有斐閣)  
 「国際組織法」(共著)(有斐閣)  
 「国際機構の法構造」(国際書院)  
 「日本の人権／世界の人権」(不磨書房) ほか

## 第2部 コンサート



### アイくるガールズ (いわき市のご当地アイドル)

“NHK オンデマンド WONDER アイドルステージ～恋する地元キャンペーン～ 優勝”  
“[IDOL REVUE ご当地アイドルお取り寄せ図鑑 第二章] 優勝”

福島・いわきから、笑顔と元気を全国に届けるため、13年3月に結成された、1期生9名+2期生2名の計11名のユニット。メンバー構成は、14歳から22歳までと年齢層の幅が広く、また、非常に個性的な子が多い。

『福島・いわきの元気応援団』がモットー。

「アイくるガールズ」というユニット名には、いわきの人々の輪・笑顔の輪が、市内から県外へと広がっていくことと、愛くるしいアイドルになる願いが込められている。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 運営主幹団体            | いわきロコドルユニットプロジェクト   |
| <input type="checkbox"/> 運営事業              | いわき市商工業活性化事業  |
| <input type="checkbox"/> 運営後援              | いわき商工会議所  |
| <input type="checkbox"/> OFFICIAL WEB SITE | <a href="http://www.iwaki-idol.com/">http://www.iwaki-idol.com/</a> |

最近の活動実績

- ・2014年6月28日  
3rd CD「ラッキーアイランド」「七浜クイーン」発売
- ・2014年7月5日  
「いわき市観光プロモーション IN 羽田空港」～カモン！いわき市～ 出演
- ・2014年7月19日  
アイドルから始まる復興支援イベント「復興 i-LAND in UENO (上野)」出演
- ・2014年7月20日  
東日本大震災復興チャリティーイベント「元気祭り2014 in ふくしま」出演
- ・2014年08月09日  
NHK オンデマンド WONDER アイドルステージ～恋する地元キャンペーン～ 優勝
- ・2014年8月16日  
「アイドルフェスティバル in AKITA2014」出演
- ・2014年8月24日  
「福島アイドルサミット (FIS) 野外編」主催・出演
- ・2014年8月30日  
「24時間テレビ37『愛は地球を救う (ビッグパレットふくしま)』」出演
- ・2014年9月6日  
「IDOL REVUE ご当地アイドルお取り寄せ図鑑 第二章」優勝 他、いわき市内外のイベントに多数出演

★毎月1回、ホーム劇場の「クラブソニックいわき」で、定期公演開催。

☆タウン情報誌 タウンマガジンIWAKI『月刊アイくるガールズ』毎月1頁連載中。

☆SEA WAVE FMいわき『アイくるガールズのあいにくるラジオ』レギュラー冠番組放送中。毎週金曜日18:45～19:00

いわき会場

# レジュメ



## 人権シンポジウムinいわき 震災と人権 つながりと再生

特定非営利活動法人 ザ・ピープル 理事長  
いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター センター長  
いわきおてんとSUN 企業組合 代表理事

吉田恵美子



### ザ・ピープルとは

この法人は、自分たちが住むまちの問題を、自分たち自身が考え、その解決のため主体的に行動する、そうした住民の存在がこれからの地域を支える基盤であると考え、「住民主体のまちづくり」を進めることを大きな活動の目的とする。また、「地域」に対する意識を広げ、地球市民のひとりとして自分たちの果たすべき役割を担うことを目的とする。(定款より)

古着リサイクル  
環境保全活動



障がい者福祉



国際協力の活動



住民主体のまちづくりの推進

社会教育の推進

災害救援



保健・福祉の増進

経済活動の活性化・農山漁村の振興・雇用機会の充実



## 2011年3月11日2時46分 その時から始まった災害



震度6弱  
津波の高さ  
8.57m(平豊間)



そして、  
福島第一原発事故



## いわき市災害対策本部週報

2014年2月14日現在

事項	直近の集計結果	備考
人的被害 死亡者数	455名	直接死 293名・関連死 125名・死亡認定を受けた行方不明者37名
建物被害 全壊 大規模半壊 半壊 一部損壊	7,917棟 7,280棟 25,257棟 50,087棟	計 90,092棟 現在も調査続行中
罹災証明発行件数	97,449件	新規申請分のみ 要調査残件数0件
一次提供住宅 応急仮設住宅 うち市民向け戸数 賃貸住宅等	3,512戸 189戸 2,303世帯	市内建設戸数(着工済み分) 入居者数 468名 入居者数 6,295名
市外に避難しているいわき市民	4,964名	住民票異動なし 2,235名 住民票異動 2,729名
市内への避難者数	22,857名	双葉郡8町村 22,043名 南相馬市 750名 田村市 42名 川俣町 3名 飯館村 19名



津波被災者の要望に応えることのできる主体を目指して  
いわき市小名浜地区災害ボランティアセンター開設



災害救援から復興支援に  
いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンターへ



地区内の誰でも気軽に立寄れる交流の場づくり  
小名浜地区交流サロンの開設



相双地区からの避難者向けの日の設定



女性の手仕事づくりの場にも

## いわき特有の課題を追って

被災者・避難者・地域住民を繋ぐ



2012年以降現在までの取り組み

まちづくりを水俣に学ぶ



オーガニックコットンで農業再生を

連携を力に変える



## 被災者・避難者・地元住民をつなぐ

みんぷく(3.11被災者を支援するいわき連絡協議会)への参画

- 広報活動の一本化...一歩一報の合同編集
- まちなか交流サロン「まざり〜な」の開設
- 小名浜絆祭への参画
- 災害公営住宅入居時期での支援



津波被災者と原発避難者が隣接して住む街



## まちづくりを水俣に学ぶ

- 視察研修・講師招聘事業の実施
- 中高生派遣研修事業の実施
- 紛争解決学の手法を取り入れる



## オーガニックコットンで農業の再生を

### ふくしまオーガニックコットンプロジェクト





連携を力に変える



いわき おてんとSUN プロジェクト

## 「いわきおてんとSUNプロジェクト」3つの復興まちづくりを始動！



オーガニックコットン

**フクシマの新しい産業の創出**

福島、いわきの農業の復興・再生に向けて、今春より、市内15箇所、1.5haでコットンの有機栽培が始まりました。初めてのコットン栽培に、地元農家やNPOなどが汗を流しています。多くのボランティアが首都圏から訪れ、栽培の支援を行っています。

このコットンを、今年11月に収穫し、来年6月にはTシャツなどの製品化を行う予定です。オーガニックコットンが、福島の新たな産業になることを目標としています。





コミュニティ電力

**市民が主役の自然エネルギー活用**

地域再生には、市民自らが自然エネルギーを活用し、新たないわきの産業へと発展させることが必要と考えます。現在、いわき市でも自然エネルギー導入の動きが見られますが、その多くは外部資本によるものです。

自然エネルギーの宝庫と言われるいわきにて、地域に希望の明りを灯す「いわきコミュニティ電力」事業の実現に向けて、体制やしきみを構築していきます。まずは、30kWの太陽光発電事業に着手する予定です、今後さらに取り組みを拡大させていただきます。





スタディーツアー

**被災地・いわきから学び、考える**

被災現場において被災者自身から発せられる言葉。そこから震災の教訓を学び、自分たちができることを見出していく。被災地のいまの姿を目に焼き付け、震災を機に生まれた新たな試みを体感する。被災地・いわきから学び、考えるツアーをスタートしました。

被災地支援に関心がある企業や団体に訪問いただき、津波被災地の視察、語り部の講話、コットンなど復興への新しい試みを体験するプログラムを提供していきます。



協力団体

**木紅木 avanti 絆ジャパン**

助成団体 **W-BRIDGE**

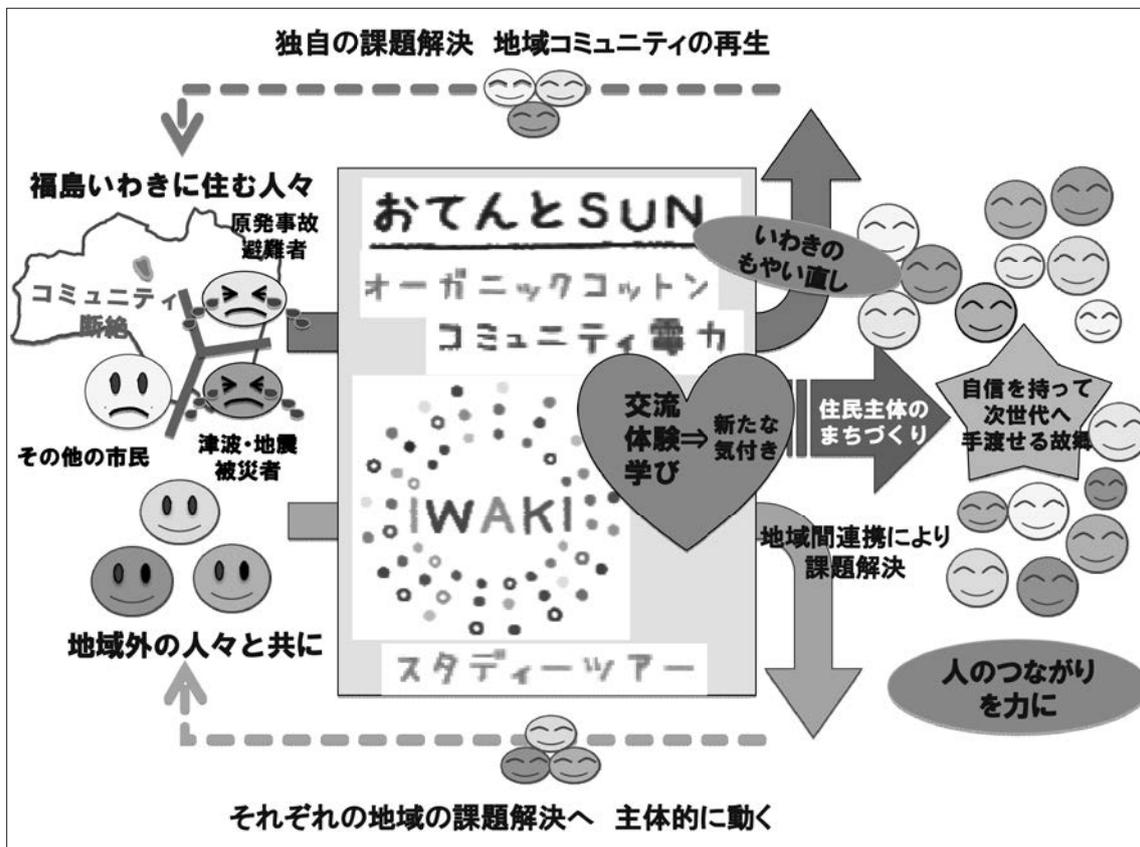
リボン エコツアーリズムネットワーク

WZP1

JKSK

いわき市

いわき おてんとSUN プロジェクト





一般社団法人「東の食の会」  
~Eat, and Energize the East~

団体概要

2014年9月

東の食の会 事務局

TEL : 03-5447-6273

E-mail : info@higashi-no-shoku-no-kai.jp

「東の食の会」運営体制



理事

- 楠本 修二郎 (カフェ・カンパニー) 《代表理事》
- 高島 宏平 (オイシックス) 《代表理事》
- 立花 貴 (四縁)
- 宮城 治男 (ETIC.)

監事

- 橋岡 宏成 (ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所)

アドバイザー

- 出井 伸之 (クオンタムリープ(株) 代表取締役、元ソニー代表取締役兼CEO、最高顧問)
- ジェームス・スミス (エモリー大学教授、元IAEA顧問)
- 竹中 平蔵 (慶應義塾大学教授、元経済財政政策担当大臣)
- 野田 一夫 (日本総合研究所会長、宮城大学初代学長)

各県代表

- 青木 聡志 (ハミングバード・インターナショナル) 《宮城県代表》
- 島田 昌幸 (ファミリア) 《宮城県代表》
- 多田 一彦 (遠野まごころネット) 《岩手県代表》
- 千葉 大貴 (マイティー千葉重) 《宮城県代表》
- 本田 勝之助 (会津食のルネッサンス) 《福島県代表》

事務局

- 高橋 大就 (オイシックス) 《事務局代表》
- 竹田 邦弘 《東の食の実行会議 事務局長》
- 芦田 克宣 《経理統括》
- 長谷川 彰男 (カフェ・カンパニー)
- 築瀬 徳和
- 小沼 利幸
- 根岸 えま
- 水野 元春
- 李 允真

発起人

- 楠本 修二郎 (カフェ・カンパニー)
- 小暮 真久 (TABLE FOR TWO International)
- 近藤 洋介 (民主党衆議院議員)
- 平 将明 (自民党衆議院議員)
- 高島 宏平 (オイシックス)
- 立花 貴 (四縁)
- 松田 公太 (みんなの党参議院議員)
- 宮城 治男 (ETIC.)

専門協力サポーター

- 石川 孔明 (ETIC.)
- 石渡 晃一 (カフェ・カンパニー)
- 後 智仁 (White Design)
- 小西 利行 (POOL inc.)
- 中山寿英 (みなと会計)

連携団体

- Sweet Treat 311
- イノベーション東北
- Food Action Nippon
- 東北の未来へ繋げる会

## 会員企業（2014年9月現在）



### 特別会員

五十音順

 Oisix おいしくす オイシックス株式会社 食品のネット販売	 CAFE COMPANY カフェ・カンパニー株式会社 カフェレストラン経営	 おいしさを笑顔に KIRIN 麒麟麦酒株式会社 酒類の製造・販売	 愛は食卓にある。 キューピー キューピー株式会社 食品の製造・販売	 ぐるなび 株式会社ぐるなび 飲食店検索サービス
--	--	---	--	-----------------------------------

### 一般会員

業態別 五十音

業種	取扱い	企業名	業種	取扱い	企業名
卸	米	いちかわライスビジネス株式会社	製造	飲料	株式会社伊藤園
卸	総合	伊藤忠食品株式会社	製造・小売	洋菓子	株式会社イナイ
卸	豆類	株式会社かね善	製造	乳業	木次乳業有限会社
卸	水産	株式会社魚耕	製造	ハチミツ	株式会社クインビーガーデン
卸	食品全般	株式会社 久世	製造	海苔	光海株式会社
卸	酒類・食品	コンタツ株式会社	製造・卸	お茶	株式会社水宗園本舗
卸	水産	株式会社マルツ尾清	製造	豆腐	株式会社 手造り屋
卸	青果	横浜市場センター株式会社	製造・小売	オーガニック食品	株式会社ナチュラルハウス
外食	レストラン	株式会社ウィルブランニング	製造	豆腐	丸和食品株式会社
外食	居酒屋	有限会社ジャックポットブランニング	製造	さつまあげ	南海食品 株式会社
小売	酒類	株式会社 河内屋	製造・小売	総合	有限会社 味楽園
小売	総合	株式会社セブン&アイHLDGS.	サービス	コンサルティング	Kマーケティングアンドコンサルティング
小売	総合	株式会社ファミリーマート	サービス	コンサルティング	とうふプロジェクトジャパン
小売	総合	株式会社ローソン	金融	証券	藍澤証券株式会社
小売	総合	株式会社結農彩			

| 2

## ミッション・活動理念



### ミッション

- 東日本の食の復興と創造を長期的に促進すると同時に、自然と共存し森羅万象から感じとる豊かな感性に基づいた日本の食文化を育み、世界に誇れるブランドとして確立する。

この目的のため、主として以下の3機能を担う：

1. 東日本の生産者のマーケティング機能、及び食関連企業とのマッチング・プラットフォーム機能
2. 食に関する新しい事業を創造していくインキュベーション機能
3. 日本の食の安全・安心を世界に伝え、日本の食文化を世界と繋ぐコミュニケーション戦略も含めたシンクタンク機能

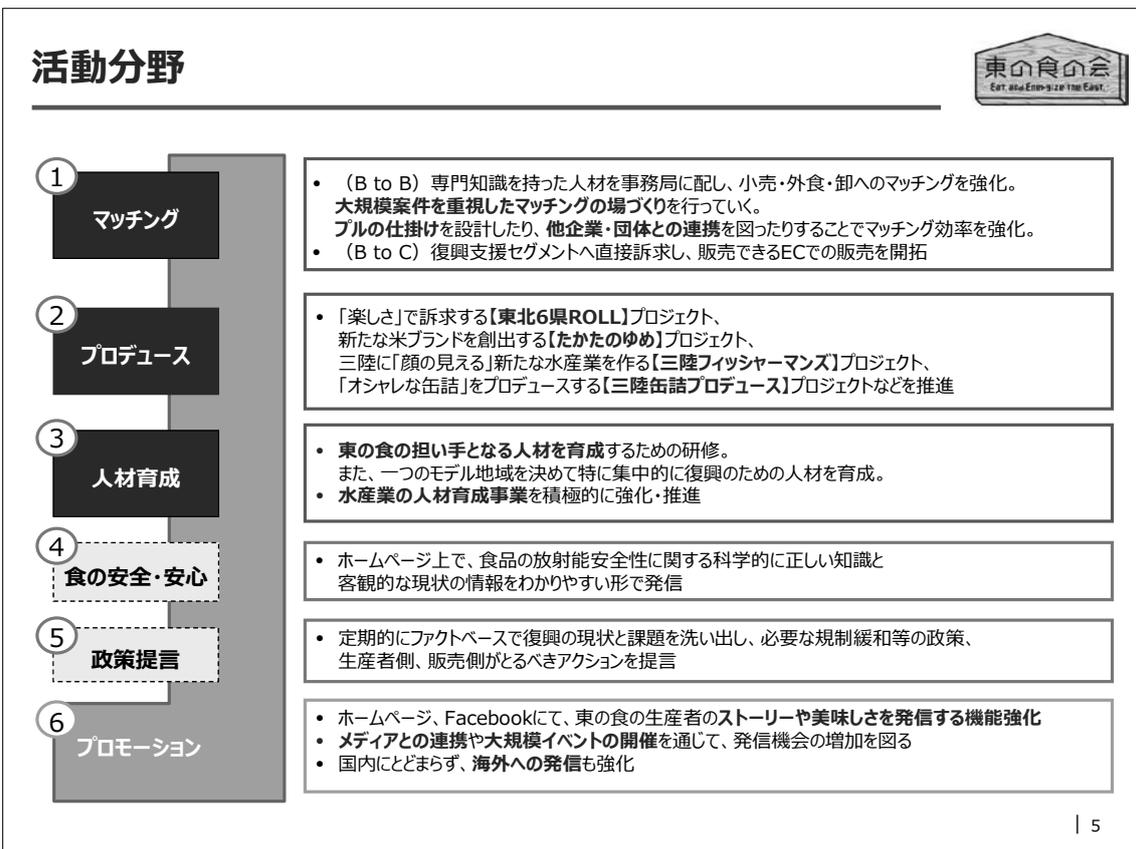
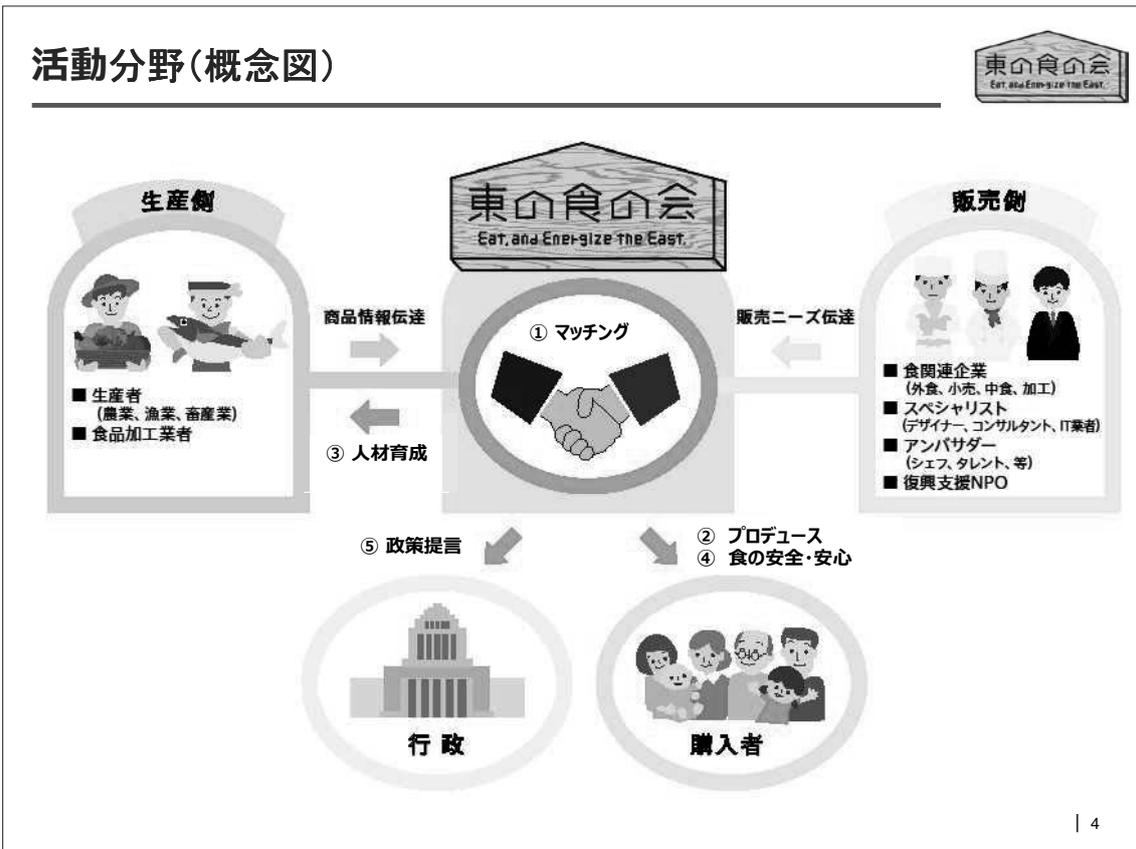
### 活動理念

- “All for the Mission” - ミッションに向けて活動する
- “No Ego as We Go” - 復興の主役たちを支援する
- “Action First” - 民間だからできる復興支援を行う

### 主な活動

1. 食のマッチング事業
2. プロデュース事業
3. 人材育成・研修事業

| 3



## 東の食の会 Est. 1944 Estm. 9.20 The East.

### 成果目標

6つの活動分野を通じて、具体的な経済的成果と社会的成果を達成する

<ol style="list-style-type: none"> <li>① マッチング</li> <li>② プロデュース</li> <li>③ 人材育成</li> <li>④ 食の安全・安心</li> <li>⑤ 政策提言</li> <li>⑥ プロモーション</li> </ol>	<h4>経済的成果</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ マッチング活動により、活動開始 <u>5年間で500事業</u>を成立</li> <li>▪ マッチングにより成立した事業及び「東の食の会」プロデュースによる事業等により、<u>5年間の累計で、約200億円*</u>の経済効果を創出</li> <li>▪ 日本の食の安全・安心を高め、ブランドとして世界に発信することにより、日本の農水産品・食品の輸出増加</li> </ul>	<h4>社会的成果</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 東北から復興のヒーローが次々と生まれることによる、社会の活気・活力の回復</li> <li>▪ 新しい農業・水産業のモデル作りによる、<u>新たな共有価値の形成 (creating shared value)</u></li> <li>▪ 正しい知識の普及による食の安全・安心の回復</li> <li>▪ 海外での日本の食の安全の再認識と日本食文化の再興</li> </ul>
---	--	--

\* 1事業の月平均売上げを85万円（1/3は200万円、1/3は50万円、1/3は5万円）と仮定

| 6

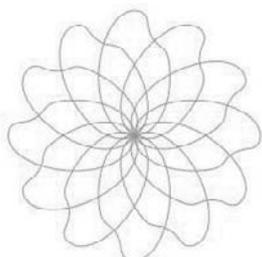
## 東の食の会 Est. 1944 Estm. 9.20 The East.

### これまでの成果

	これまでの成果 (2014年3月末現在)	5年間の目標値 (~2016年6月)
マッチング 件数	695 件	500 件
流通総額	約 23 億円	200 億円

| 7

## ② プロデュース：陸前高田の新ブランド米 たかたのゆめ



ゆめ たかたのゆめ

陸前高田の  
おいしい米

- 日本たばこ産業（JT）が陸前高田市に権利ごと寄贈した新品種米を、ブランド米としてプロデュース
- 2013年、伊藤忠食糧を通じ、銀座三越、新宿高島屋等にて販売し、全量完売



戸羽陸前高田市長による稲刈り



メディア向けブランドお披露目会



高級デパートでの販売

## ② プロデュース：三陸フィッシャーマンズ・プロジェクト



- ヤフー株式会社と共同で立ち上げた、三陸に新しい水産物を生み出すプロジェクト
- 「顔の見える水産物」により、新しい産業の担い手を生み出す
- 地域を越えて生産者がつながり、三陸水産物の付加価値を高める商品やブランドを生み出している

### 「デカプリホ」



石巻十三浜の阿部勝太さん

#### 第1弾商品「デカプリホ」

■デカプリホとは  
三陸のホタテのうち、特にデカくてプリプリのホタテ  
・殻の大きさ11cm以上  
・重さ250g以上



⇒ 2012年10月、Oisix ヤフー店にてオンライン販売、発売4日間で250セットが売り切れ

### 「アカモク」



⇒ 2014年3月、岩手の高橋清隆さんと宮城の赤間俊介さんが共通のブランディングでアカモクを販売

## ② プロデュース：地域横断「アカモク」プロジェクト



- ・ 認知は低いものの、とてもヘルシーで美味しい海藻「アカモク」の、岩手の生産者（高橋清隆さん）と宮城の生産者（赤間俊介さん）が、手を取り合い、共通のブランディングで販売していくことで合意。
- ・ 両者とターゲット顧客、訴求ポイントを議論した上で、共通のパッケージデザインを新たに作成し、2014年3月、記者発表
- ・ 地域を越えた共通のブランディングの先事例として、販路開拓、イベント、プロモーション等で協同



あなたにキレイを届ける海藻  
アカモク、ついにデビュー！

免疫力強化の効果があると  
注目のヌメリ成分「フコイダ  
ン」がモズクの2倍

脂肪燃焼効果があると話題  
の「フコキサンチン」が海藻の  
中で最も豊富

| 10

## ② プロデュース：「サヴァ缶」



- ・ 岩手県の缶詰業者と販売会社とのコラボにより、付加価値の高い缶詰作るべく商品開発
- ・ 2013年9月の販売開始以来、およそ80,000缶を販売する大ヒット商品に

### 岩手から サヴァ？

ヘルシーな国産サバのオリーブオイル漬けで、手軽に美味しい洋風料理

サ  
ウ  
ア  
缶



「サヴァ缶」  
原材料：さば、オリーブ油、食塩、酒、  
野菜エキス、調味料（アミノ酸）  
内容量：170g

国産サバの  
オリーブア  
フの  
オイル漬  
け

IN OLIVE OIL  
**Ca va?**

- ✓ **丸ごと体にいい。**  
話題のEPA/DHAが豊富な上に、骨まで丸ごと食べられる。さらに、オリーブオイルで一層ヘルシー。
- ✓ **クセがなく手軽に美味しい。**  
国産サバの旨みを丸ごと凝縮しながら、あっさりとしたクセのない美味しさ。簡単・手軽に洋風アレンジ。
- ✓ **キッチンに飾りたい。**  
缶詰を見られるのは恥ずかしいというアナタも「サヴァ缶」なら大丈夫。そのまま食卓に出しても素敵な一品。

| 11

## ② プロデュース：「東北6県ROLL」プロジェクト



- 地域の食材を地域で加工し、トップシェフがプロデュースすることで、地域とともに首都圏で流通させ、東北地域への経済効果を最大化
- 「東北6県ROLL」のルール=ご当地食材を用いて「巻いた」食品

**青森県**  
 ドミニク・コルビ氏  
 ル・シズイエム・サンス・ドゥ・オエノン  
 エグゼグティブ・ディレクター  
 リンゴロール

**岩手県**  
 園山真希絵氏  
 食プロデューサー  
 家庭料理教室「園山」オーナー  
 三陸わかめの  
 いわ天ロール

**秋田県**  
 萩原雅彦氏  
 カフェ・カンパニー株式会社  
 総料理長  
 いぶりがっこの  
 サワーブレッドロール

**山形県**  
 テイビット・マイヤーズ氏  
 オーナーシェフ  
 SOLA プロデューサー  
 ほおずきロール

**宮城県**  
 栗原友氏  
 料理家  
 三陸カシカの  
 ラップロール

**福島県**  
 徳岡邦夫氏  
 株式会社京都吉兆  
 代表取締役社長 総料理長  
 そば粉の  
 ロールクッキー

**三陸**  
 三國清三氏  
 オテル・ドゥ・ミクニ  
 オーナーシェフ  
 誇母牛の  
 ロールステーキ

➡ 今後、シェフの開発したレシピに基づき、各地域の加工業者にて商品化、大手流通で発表予定

## ③ 人材育成：三陸フィッシャーマンズ・キャンプ



新しい水産業を担う次世代のリーダー養成を目指すプログラム。  
 東北の水産業に携わる方々に向けて、商品開発やマーケティング等を行っている企業や  
 団体でインターン・研修する場を提供。  
 また、月に一度、参加者による合宿を行い、マーケティングや営業のスキルを学ぶとともに、  
 地域を超えて担い手がつながる場を提供。



ワークショップ  
 勉強合宿



飲食店・企業への  
 インターンシップ



販売体験

## ⑤ 「東の食の実行会議」

\* 復興庁「新しい東北」先導モデル事業

～「新しい東北」の食から新しい日本を～ (2014/7/18・19 於：仙台)



東北の食の産業復興に向けて企業のリソースを 集約し、大きな経済インパクトを持続可能な形で生み出すため、生産者、食関連企業、行政、NPO、デザイナー等、食の復興のキーパーソン約150名が仙台に一堂に会し、パネル・ディスカッション、先導モデル視察、課題別のグループディスカッションを経て、具体的なアクションを生み出した。



小泉進次郎復興大臣政務官と新浪ローソン会長によるパネル・ディスカッション



小林武史氏、奥山清之氏、青山フラワーマーケット井上社長によるパネル・ディスカッション



復興ヒーローたちが地域への想いと現状の課題を語った復興ピッチ



先導モデルとして、「GRA」のイチゴハウス（山元町）と、「みちさき」の野菜工場（仙台）を視察



課題別に、解決策として実行に移すアクションを議論、具体的なプランを発表した

| 14

## ⑥ プロモーション：「TOKYO HARVEST」開催



東京から日本を代表する収穫祭を立ち上げるべく、東の食の会、オイシックス株式会社、カフェカンパニー株式会社が主催し、「東京ハーヴェスト」を11月9日(土)～10日(日)、六本木ヒルズアリーナにて開催。およそ26,000人が来場。



林農水大臣が参加してオープニングセレモニー



小泉復興大臣政務官が、三陸フィッシャーメン達を激励



東の食の会は、三陸フィッシャーメン自慢のホタテ、わかめ丼、女川汁を提供し、大好評を得た



欧州委員会のチオロンシュ農業担当委員（大臣相当）がJ A全農福島ブースを訪問し、りんごを堪能

| 15

## 会員企業募集要項



当会は東の食の復興に向け、共に活動していただける会員企業、協賛企業を募集しています

### 【会員企業】

会員	入会金	年会費	期間
特別会員	100万円～	10万円	5年以上
一般会員	なし	10万円	5年以上

### 会員へのサービス内容

- マッチングに関するサポートを提供
- 支援ニーズを編集し、情報提供
- マッチングの調整支援
- 個別イベント・分科会を提案
- 「東の食の会」ブランドの下、新商品の開発、パッケージデザイン、流通、マーケティングのプロデュース

### メリット

- 被災もしくは風評被害を受けた生産者を直接支援できる
- マッチングにより新たなビジネスチャンスが生まれる
- 優良な生産者発掘のためのコストを削減できる
- 社会的イメージの向上
- 直接取引による仕入コストの削減

### 【協賛企業】

**対象** : 業界を問わず、弊団体に賛同し、その活動を援助していただける企業  
**協賛金** : 1,000万円～

| 16

## 人権シンポ in いわき「震災と人権」

# 市民から発信する意味とは ～風化させないために～

OurPlanetTV白石草

## OurPlanetTV

2001年10月21日に活動を開始した非営利のオルタナティブメディア

The screenshot shows the OurPlanetTV website interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'ABOUT', 'JOIN', 'SUPPORT', 'CONTACT', and 'ENGLISH'. Below that is a banner with the tagline 'Standing Together, Creating the Future'. The main content area features a video player with a blurred image of a person. To the left is a sidebar with various menu items like 'HOME', 'ACCOUNT INFO', 'CONTACT', 'DOCUMENTARY', 'NEWS CLIPS', 'WORKSHOP', 'VIDEO PROGRAMS', 'MEDIA CAFE', 'WORKSHOP', 'MEDIA SUPPORT', 'MAIL MAGAZINE', and 'SHOP'. To the right of the video player, there's a 'NEWS' section with several article teasers.

5分～15分の  
ドキュメンタリー、  
インタビュー番組を制作配信  
約1000本のビデオを掲載

2013年6月の  
復興庁参事官暴言をスクープ

放送ウーマン賞(2013年)  
日本ジャーナリスト会議賞  
科学ジャーナリスト大賞(2014年)  
などネットメディア初受賞

## Mission statement (使命)



*Standing Together, Creating the Future*

Standing Together, Creating the Future.

- 1 : テレビでは取り上げにくいテーマの番組を制作・配信
- 2 : 情報発信したい人の後押し (ワークショップなど)



## 3.11後の独自報道

- \* 主に子どもを取り巻く問題などを取材し配信
- \* 小さいメディアですが、大手があとで追いかけることが沢山あります

今年の24時間テレビに  
なったテーマです

なぜ避難勧奨地点にならないのか!? ~苦悩する福島市渡利地区  
投稿者: ourplanet 投稿日時: 木, 12/08/2011 - 09:20



青の絆・仮設校舎での卒業式~南相馬市小高中学校  
投稿者: ourplanet 投稿日時: 木, 04/10/2014 - 10:52



## 当事者の情報発信支援

◎宮城県七ヶ浜中学校（2011年8月）  
NGOプランジャパンとともに、津波被害を受けた七ヶ浜中学校のみなさんと映像を制作。東京にて上映。



## テレビを通じた情報発信支援

◎子どもたちの情報発信（2012年1月）  
「私たちの未来は大丈夫？～子どもが考える原発と被曝」  
をCS朝日ニューターで2時間特番<http://www.ourplanet-tv.org/?q=node/1285>



## 福島県内でのワークショップ

福島市内で開催（2013年2月～3月）  
震災と原発事故によりさまざまな被害を受けた  
当事者による映像記録と映像制作を支援するプロジェクト



## 「飯舘村・わたしの記録」の誕生

飯舘村の酪農家長谷川健一さんが  
事故後、ビデオカメラを購入  
撮り溜めたビデオを映画化



The screenshot shows the homepage of the 'Voices of Fukushima' website. The header features the title 'ふくしまのこえ voices of Fukushima' and the tagline '福島にまつわる映像記録をアーカイブする'. Navigation links include HOME, 最新情報, ふくしまのこえ, OurPlanetTV×福島, 福島映像祭, ビデオ投稿/公募, 賛同募集, and お問い合わせ. A search bar is located on the right. The main content area is divided into several sections: 'ふくしまのこえ 新着ビデオ' with a featured video about a evacuee, '福島映像祭2014' with a '公募受付中!' (Public Submission Open!) button, and '最新情報' (Latest News) with several news items dated from 2014.8.18 to 2014.9.01. The URL 'http://fukushimavoice.net' is displayed at the bottom.

## 福島映像祭



2013年スタート  
2014年9月20日～26日  
東京・ポレポレ東中野

福島原発事故にまつわる  
映像作品を上映

- 国内映画 5本
- 海外映画 1本
- テレビ番組 6本
- 特別上映 1本
- 市民作品 3本
- トーク 4企画

## なぜ自らの発信が必要なのか

- 鼻血問題から考える～実害と風評被害と差別
- 原爆・水俣病ーマスメディアが機能しなかった歴史
- マザー・テレサの言葉

「愛の反対は憎しみではなく無関心です」

無関心、知識の欠如が「差別」を生む→

→人間の復興・差別の払拭へ

→表面的な情報ではなく、一人ひとりのリアルな発信が重要

参考：「美味しんぼ問題」を考える～なぜ政府は「鼻血」を認めないのか」

岩波書店「科学9月号」

Standing Together, Creating the Future.